

○意見交換

<港南コミュニティセンター>

■質問 1 :

去年舗装された裏の道路が、砂利がむき出しの状態なので早急に直してほしい。

■回答【市長】:

担当の部署に伝え、すぐに確認させる。

(上下水道課)

⇒至急現場を確認し、芝生舗装を行いました。

■質問 2 :

港南中学校の校長宅付近で穴が空いており、現在直していただいているが、そういった市道の点検等はどうやって行っているのか。

■回答【市長】:

市道の穴については雪解け後によく見られるものだと思うが、市のパトロールの他に、郵便局・タクシー会社と協定を結んでおり、見かけたら連絡をしていただいている。

■質問 3 :

オタルマセタベツ川は整備されているが、その付近を流れるもう一つの川は整備されていない。

■回答【市長】:

担当の部署に伝え、すぐに確認させる。

(環境保全課)

⇒至急現場を確認し、草刈と倒木の撤去を行いました。今後も適切な維持管理に努めます。

■質問 4 :

見晴通りの立ち退きについて、何年か前から進んでいるがまだ残っている方がいるので詳細をお聞きしたい。

■回答【市長】:

担当に確認する。

(都市整備課)

⇒見晴通の移転補償は北海道が行っておりますが、北海道からは、移転について住民との合意に至っておらず、予定より工期が1年伸びる可能性もあると伺っています。

■質問5：

留萌の産業全体の所得がわかるグラフを作ってもらいたい。また、今回の懇談会の資料をホームページでも確認できるようにしてほしい。

■回答【市長】：

グラフについてはすぐにはできないが、担当の部署に報告し、検討したいと思う。懇談会の資料は近日中にホームページにアップする。

■質問6：

今年の年明けの雪がひどく、除雪車も来ない状況で病院に行けない方もいた。タクシーも来れない状況だったため、対応を考えてほしい。

■回答【市長】：

業者との情報共有に力を入れ、パトロールを強化していきたい。冬までに様々な対策を考えていきたいと思っている。

(都市整備課)

⇒パトロールは毎日行っているものの、全ての道路状況を把握するのは現状では困難です。

人員、設備、コスト等を総合的に判断したうえで、パトロールの強化について検討します。

<港東コミュニティセンター>

■質問 1 :

新型コロナワクチンの4回目の接種をできるだけ早く進めてほしい。

■回答【市長】:

現在準備を進めている状況である。優先順位は、医療従事者→高齢施設入居者→65歳以上の市民となっているが、順次接種券を配布するので随時受けていただきたい。今後は12歳以下のワクチンの接種率と、5歳以下の感染について対策を考えていく。

■質問 2 :

ちやいるもについて、施設の接触事故や親が中に入ることができず大変だった話を聞いた。さまざまな年齢の子どもたちが一緒の空間で遊ぶのは危ないのではないか。下に安全対策のクッション等もないため、施設の安全性について何か対策をされるのか聞きたい。

■回答【市長】:

市民の方や利用者の意見を聞き、直せる箇所は随時対応していきたい。私の意見としては、遊びには少し危険が伴うものであり、それと同時に思いやりの心を育ててほしいと思っている。今後もより良い施設にするため積極的に意見を取り入れたい。

■質問 3 :

留萌市の不登校児童の実態について教えてほしい。またその延長として成人して引きこもりになってしまった方に対するサポートはあるのか。

■回答【市長】:

市内にも不登校の子はおり、さまざまな考えを持っている状態。寺子屋もいっこを開設した際に不登校の子が参加してくれた例もあるが、きっかけづくりが大切になると思う。引きこもりになってしまった方に対してはその方の親と一緒に解決していかなければならない。以前は障がいをもっている方が引きこもりになるケースが多かったが、現在は発達支援センターがあり、保健師の方が相談を受けたり、外に出る機会をつくっている。町内会の方や民生委員の方をお願いしたいのはどこに誰がいるのかということ。話す機会をたくさん設けて、情報収集をして解決できればと思っている。

<東部コミュニティセンター>

■質問 1 :

小中一貫校の留萌市の方向性についてお聞きしたい。

■回答【市長】:

小中一貫校の話は出ているが、人員等の問題を解決していかなければならない。将来的には小中一貫校にする選択肢が必ず出てくるので、タイミングを見極めていきたい。今後も重点的に考えていく必要があると感じている。

■質問 2 :

副市長の政治指針や考えをお聞きしたい。

■回答【副市長】:

副市長としての仕事は「中西市長が掲げるビジョンを具現化させること」である。市長が掲げるこれからの留萌市のあり方が間違いなく留萌市民のためになるものなので、市長の考えていることを少しでも形にすることが大切だと思っている。

■質問 3 :

本日届いた町内回覧の中に学校だよりが入っていたが、発行日が4月28日のものであるため、もう少し早くできないか。また、学校だよりは町内回覧に入れなくてもいいのではないか。

■回答【市長】:

町内回覧や広報誌のような紙媒体はタイムラグが生じるものであり、市としてもこれから考えていかなければならない。そのため、少しずつデジタル化を進めていきたいと考えている。学校だよりについては、地域の子どもがどのような活動をしているのか市民に知らせたいという学校側の思いから配布しているが、町内会側で不要だと考えるのであれば今後検討していきたい。

■質問 4 :

先ほどの施策の説明の中で市長から「儲ける」との発言が出ていたが、今後の施策の中で「儲ける」事業があれば教えてほしい。

■回答【市長】:

主な事業はふるさと納税である。今までかけてきたお金をいかにかけずに施設運営をできるか等を考えていく必要がある。例えば、モンベルの事業は市の方で使いやすい建物をつくって、その中でモンベルがいろいろな施策を考えることによって法人税等の収入が入ってくる。今までは指定管理等で委託料を支払いながら運営を行っていたが、今後はお金をかけない運営を考えていきたい。

■質問5：

除雪について、今年度はどのような対策を行っていくのか市の考えをお聞きしたい。

■回答【市長】：

除雪業者との連携が大事ということと、町内会単位で雪を集める場所を探さなければならぬと思っている。業者以外にも除雪道具を持っている方に協力していただきたい。

■質問6：

除雪について、空き地の有効活用をお願いしたい。

■回答【市長】：

効率化を目指して取り組みたいと思う。町内会でどなたが除雪の道具を持っているのかを把握しておけば余計に走らなくてもよくなる。

■質問7：

各町内会がどれくらい防災に取り組んでいるかを知りたい。

■回答【市長】：

町内会でそれぞれやっていることが違う。防災は自助・公助・共助が大切だが、一番大切なのは個人情報を無くしていくことだと思う。コミュニティの中で情報共有を行っていただきたい。

<幌糠コミュニティセンター>

■質問 1 :

幌糠町内には商店街がなく、買い物をするために長距離を移動しなくてはならない。

J Rがなくなれば交通の便も悪くなってしまうため、市内の大型店を巡回する買い物バスを導入してほしい。午前9時に出発し午前11時に戻るくらいがよい。無料とは言わないので検討してほしい。

■回答【市長】:

現在AI運行バスやデマンド型タクシーの導入を検討している。将来性を考えるとバスの運行は必要不可欠になるので、慎重に進めていきたい。

■質問 2 :

留萌市住民組織運営助成金について加入世帯数が減少傾向にあるので、電気料金の助成の割合を5割から7～8割にするなど、積算方法を見直してほしい。

■回答【市長】:

町内会長の方々と協議して決めていきたいと考えている。

■質問 3 :

水道のメーターの設置に約10万円かかると聞いた。初年度は市の方で負担していただけるとのことだが、2年目はこちらで支払うということなのか。

■回答【市長】:

メーターについては8年更新となっており、初年度の設置費用と更新時のみ料金が発生する。いずれも市の水道事業の方から支出するため、設置に関しては市民の費用負担はない。

■質問 4 :

テレビがうまく映らないときがある。BSは見られるが、NHK・民放は画像や音声が乱れることがある。また、雨が降った日はアンテナのケーブルに水が入りテレビが見られない。なんとかしてほしい。

■回答【市長】:

担当の部署に確認する。

(総務課)

⇒今後原因を調査し、市で対応できるものがあれば行っていく。

■質問 5 :

若者の雇用創出に向けて今後の留萌市の取り組みを教えてください。

■回答【市長】:

新卒の方向けの技能講習等ができないか考えている。また、市役所に勤務する技術者の方が少ないので、知り合いを通じての紹介など積極的なアプローチをしていきたい。

<港北コミュニティセンター>

■質問 1：

留萌高校に進学しない理由について丁寧な聴き取りをしてほしい。
河合塾との包括連携協定について、先生や生徒の現場の声をもう少し聞いてほしい。
存続が厳しい状況にあるため、情報ビジネス科と電気建築科の生徒に対するサポートはないのか。

■回答【市長】：

ふるさと納税等の財源を活用しながら市として事業を進めていくことが大事だと思う。
以前までは「学校教育課」という名称で市内の小中学校に特化していたが、現在は18歳までの市民に対する支援を拡充していきたいと考えている。今後は生徒や教員の意見を積極的に取り入れながら、次の政策に取り組みたい。

■質問 2：

マイナンバーカードの手続きについて、郵送でできないのか。

■回答【市長】：

申請については簡易書留での郵送であったり、スマホ等を利用してできるが、最後の本人確認で必ず来庁しなくてはならない。手続きの詳細については担当の部署に確認する。
また、普及促進を図るための事業を今後も考えていきたい。

(市民課)

⇒申請時に来庁し本人確認を行えば、市役所から簡易書留でマイナンバーカードを郵送する。現状では手続きかマイナンバーカードを取りに来るタイミングで市役所には来庁していただくことになっているため、今後は普及促進のための施策を考えていきたい。

■質問 3：

一生住み続けられるような街にするために、除雪の関係や住宅の助成等様々な事業を展開してほしい。看護学校があれば若者も残ると思うがどうか。

■回答【市長】：

まずは財源を確保していきながら、継続できる事業を重点的に行いたいと思う。限られた財源の中でできることを探していく。看護学校についても市内にあれば若者の流出を防ぐことができるが、生徒だけでなく教員も必要になるため課題も多く、道からの許可もなかなか下りない状況である。様々な問題に対応しながら、より住みやすいまちづくりを目指していきたい。

■質問 4：

先ほど教育の関係で質問が出ていたが、教育長の考えをお聞きしたい。

■回答【教育長】：

市が学校と話をさせていただいているのは、主に校長・教頭・ICT 関係の教員である。ICT の授業については今後も協議を進めながら、よりよい環境を提供したい。生徒から直接話を聞くことは今までやっていなかったため、機会を作っていきたいと思っている。情報ビジネス科・電気建築科についても地元で就職したい生徒と企業がマッチングできているのかどうかを確認していかなければならない。

■質問 5：

来年度から移行期間 3 年を経て学校から部活動がなくなる話があるが、市としてどのように進めていく予定なのか、特に指導者やその報酬について教えてほしい。

■回答【市長】：

部活動は今後、少年団のような地域型スポーツに向かっていくことになる。指導者は地域の方に有償で依頼することになると思う。公務員の副職についても整備していきたい。その他には現在包括連携協定を締結している VICTAS やコンサドーレからの人材派遣も考えている。

■回答【教育長】：

市長の回答に補足だが、先日スポーツ協会と学校関係者と協議を行い、できるだけ早い段階から政策を進めたいという旨をお話した。指導者に関しては人材派遣や公務員の方にご協力をしていただき、資格等が必要なものについても事前に調査し、来年度から進めていきたいと考えている。

<港西コミュニティセンター>

■質問1：

個人的な意見だが、今の状況で脱炭素をすると経済を破壊しかねないと思う。なぜかという、国民が負担するFIT制度があるから、ブラックアウトの際にも再生可能エネルギーは使えなかった。その場合役に立つのは石炭や原子力などを活用したベースロード電源である。ある程度のエネルギーを確保してから安全保障のなかで脱炭素を進めるべきである。

■回答【市長】

留萌は石炭と木材を本州に輸出していた過去がある。FITの関係も含めて北電が力を入れるべき。2030年を目安に送電線の整備をするのがいいと思う。再生可能エネルギーを利用する際は蓄電池設備も進めるべきだと思う。風力発電をしてもそこから電力が供給されないという懸念もあるため、そのようなことがないようにただ政策に転じるのではなく、地元の政策につながるようにしていきたいと思う。

■質問2：

1次産業について日本の自給率は28%と低く、海外に依存している中で、生活向上はできるのか。留萌には米やルルロソがあるのでひとつひとつ積み上げていくことが大切だと思うが市長の考えをお聞きしたい。

■回答【副市長】：

1次産業の重要性については非常に感じている。昨年、4つの農協が1つになってJAもいとなった。小麦は留萌のほかにも上川・空知で盛んであるが、オーストラリアで栽培されているような外麦の評価が高いため企業がどうしてもそちらを優先してしまう状況。せつかくいいものが採れてもなかなか自給自足に繋がらないのが現状である。本日鈴木知事に北海道として農業の自給率を上げるべきというお話をした。農耕者も販売者も自給率を上げるために何ができるか考えるべきだと思う。

■質問3：

財政について、マクロ的な視点が必要だと思う。

■回答【市長】：

積極的に国に提案をしていくのが大切であると考えている。個人的には国が人口減少の発端を作っているのではないかと思う。企業が生産力をあげるのも大切。

■質問4：

街の流れを変えるべきだと思う。また、新しいものを作るのではなく、今あるものを再利用していくのが大切だと思う。既に閉店して何十年も経っている建物がたくさんあるので、地権者と協議してほしい。

■回答【市長】：

建物については債権者がわからなくなっている状況であるため、市で調査しながら危険住宅については早めに壊すことが求められている。見晴通りができることによって、留萌の流れは変わると思う。まずバスを走らせたい。建築基準法に基づいた耐震化について考えないといけない。

■質問5：

JR問題について、既に諦めている方がいると思うが、今後の社会状況においてはJRは必要だと考える。もしJRを存続させるという結論になったら、市長はそれに賛成という考えでよろしいか。

■回答【市長】：

国が全額負担するならば賛成であるが、今までと同じ運用はできないと思うし、港の活性化につながるようにしなければならない。

■質問6：

学校の部活動について、指導者の確保や謝金の問題が発生するので対応してほしい。

■回答【市長】：

指導者は有償ボランティアとしてしっかり位置づけをしていきたい。

■質問7：

市政懇談会について、もっと人が集まる工夫をしたらどうか。

■回答【市長】：

今後はアンケート等も参考にしながら、人が多く集まる時間帯に開催する予定である。

■質問8：

留萌高校について、職業科に進んでいる生徒に対して、留萌の特色を活かして調理師の免許がとれるような科をつくれば、地元に残る生徒がもっと増えると思う。

■回答【市長】：

現在、技術を必要とする企業が少ない状況なので、そこの整備をしていきたい。魅力のあるまちづくりを進める。

■質問9：

神居岩スキー場の魅力が少ない。

■回答【市長】：

景観についてはもう一度確認し、市民一丸となって何らかの事業を行いたいと考えている。